

研究課題名	炎症性腸疾患におけるアダリムマブ使用実態の多施設共同患者・医師アンケート調査—Pearl survey 2—
研究の意義・目的	自己注射治療に対する満足度や不安、投与の遵守に関連する項目に対しては担当医師にもアンケートを実施し、患者—医師間の評価の差異についても調査いたします。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2021年12月（延長しました）
研究協力をお願いしたい方（対象者）	倫理委員会承認後～2019年12月に大阪市立大学医学部附属病院の消化器内科で、ヒュミラを処方された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	病状とアダリムマブ治療状況に関するアンケートに記入いただきます。 新たに使用可能となったペン型製剤を使用した患者さんには使用後に改めてペン型製剤に関するアンケートに記入いただきます。 (2019年12月31日にてアンケートの集積は終了しました。)
試料・情報の他機関への提供	共同研究機関 兵庫医科大学、福岡大学筑紫病院、岩手医科大学から試料・情報の提供を受けて研究を実施します。
この研究を行っている共同研究機関	本アンケート調査は全国4つの大学病院(福岡大学筑紫病院、大阪市立大学、兵庫医科大学、岩手医科大学)で実施 <代表研究機関および研究代表者> 大阪市立大学 消化器内科 鎌田紀子 <共同研究機関および研究責任者> 兵庫医科大学 腸管病態解析学 渡辺憲治 岩手医科大学 消化器内科 松本主之 福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター 平井郁仁
試料・情報を管理する責任者	代表研究機関 大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者 鎌田紀子
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 外来 (担当者氏名) 鎌田紀子 電話番号：(06) 6645—2316